

遺伝的体質から肌老化のリスクを予測 サインポスト「肌老化予防プログラム」



※男性は更年期障害の代わりにEDの項目が設けられています

＜「肌老化予防プログラム」とは？＞

- ◆保有遺伝子を解析し肌老化の遺伝的リスクを判定する検査
- 約70種類の遺伝子の保有状況を測定（日本人10,000症例以上のデータと比較）
- 12項目の肌老化の遺伝的リスクを判定
- 保有遺伝子に基づくアドバイス付報告書

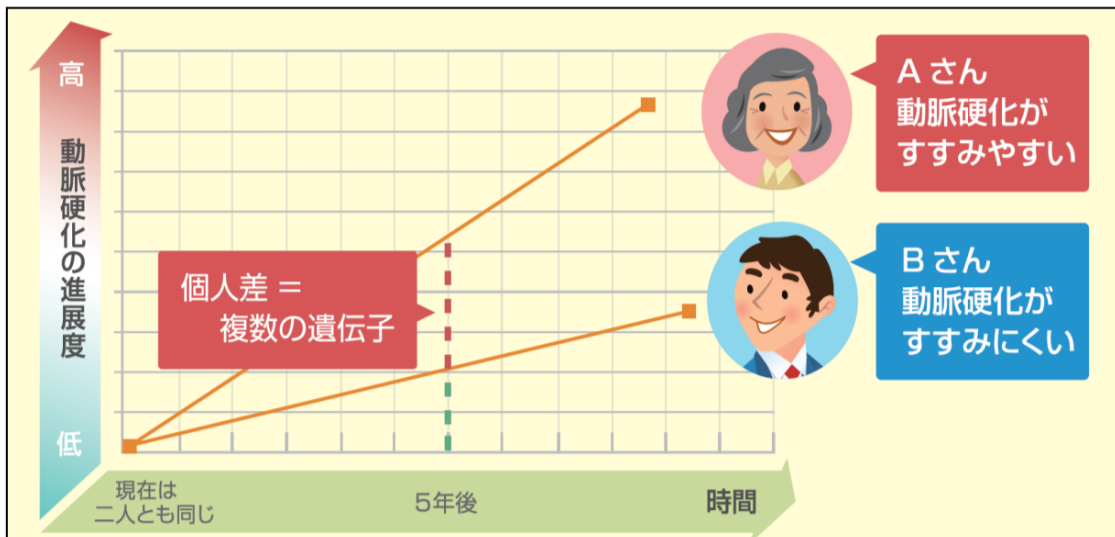
個々人の遺伝的リスクに基づく
ライフスタイル・生活習慣を提案

効果的な肌老化予防
「オーダーメイド美容」の実現へ

＜サインポスト遺伝子検査のメリット＞

疾患は遺伝要因と環境要因の双方の影響によって発症の有無やその程度が決まると言われています。例えば、メタボリックシンドロームを指摘されたAさんとBさんが、同じ食事や運動を行っていたとしても、遺伝子のわずかな違いによって、将来の動脈硬化の進みややすさには大きな違いが出ます。

サインポスト遺伝子検査は、このような「遺伝的要因」を調べることで、「どんな病気にかかりやすい体質か」、「どのようなライフスタイル、食生活が適しているのか」を知ることが出来る遺伝子検査です。



サインポスト遺伝子検査で『遺伝的要因』を認知し、
『環境要因』を意識したケアを行うことでアンチエイジングにつながります。

＜報告レポートのその見方＞

報告書形式にて12分野の遺伝的リスクの解析結果、
ならびに疾病予防のための個々人の遺伝的リスクに基づいたライフスタイル・生活習慣を提案致します。



女性用報告書

<https://www.premedica.co.jp/wp-content/uploads/2020/12/HADA-SAMPFH.pdf>



男性用報告書

<https://www.premedica.co.jp/wp-content/uploads/2020/12/hadaproject.pdf>

保湿 レベル3（日本人平均）

日本 花子 様の保湿に関する遺伝的リスク度は ● 合計数= 3 個です。
肌の保湿に対する遺伝的影響度は日本人平均（中程度）です。



◆保湿関連遺伝子の測定結果

あなたのリスク数	測定遺伝子	遺伝子の主な働き	遺伝子の日本人保有率
0	EPHX2	血管拡張作用を持つ因子(EET)が分解され、血行が悪くなりやすく、保湿機能が失われやすい。	80%
1	NOS3(1)	酸化ストレスを軽減しやすく、皮膚のバリア機能が低下しやすいため肌が乾燥しやすい。	74%
2	ESR1	女性ホルモンに対する反応が強く、血流が低下しやすく、肌の潤いが失われやすい。	50%
3	FLG(1)	フィラグリン分解産物の天然保湿成分が減少しやすく、保湿機能が失われやすい。	35%
4	FLG(3)	フィラグリン分解産物の天然保湿成分が減少しやすく、保湿機能が失われやすい。	60%
5	SLOC6A4	ストレスの影響を受けやすく、肌の潤いが失われやすい。	60%

◆遺伝子からおすすめの生活習慣

栄養成分

セラミド **植物性エストロゲン** ケルセチン ビタミンE

ライフスタイル

有酸素運動 上質な睡眠 入浴 喫煙に注意

ストレスに注意

- 6 -

保湿に関するアドバイス

お肌のうるおいの素

肌は大きく分けると表皮・真皮・皮下組織から構成されています。お肌のうるおいの素は真皮の「水分」と表皮角質細胞の天然保湿成分、角質細胞間の水分を挟み込んだセラミドにあります。真皮の60～80%が水分で、この水分量が少なくなると、お肌のうるおいが保てなくなります。この水分は真皮の中にある線維芽細胞が産生するコラーゲン、ヒアルロン酸、エラスチンからなる網目構造で保たれています。線維芽細胞の働きは血管で運ばれた酸素や栄養素により維持されています。真皮の水分が少なくなったり、表皮の天然保湿成分が充分産生されず、少なくなると乾燥肌になりやすくなります。



エストロゲンの反応が悪く肌のうるおいが失われやすい

ESR1

あなたはエストロゲンの反応が悪い「ESR1」遺伝子を保有しています。エストロゲンは、血管を拡張される物質の産生を促し、肌の血流を良くしますが、あなたは肌の血液循環が妨げられ、お肌のうるおいが失われやすい体質です。エストロゲンと似た働きをする納豆やイソフラボンなどの「植物性エストロゲン」を含む食品の摂取をおすすめです。

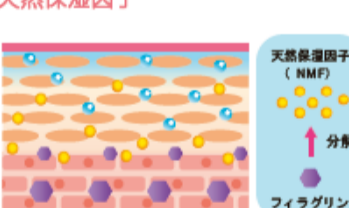
保湿成分の産生が悪く乾燥肌になりやすい

FLG(1)

あなたはフィラグリンの産生が悪い「FLG(1)」遺伝子を保有しています。肌の「天然保湿成分」の素であるフィラグリンの産生が悪くなると、乾燥肌になりやすく、バリア機能が始められます。また、アトピー性湿疹も起こりやすくなります。角質層はお肌を外的刺激から守ったり、皮膚の潤いを保持したりする大切な組織ですので、角質細胞間で水分保持に重要な「セラミド」などを含んだ食品（こんにゃくや大豆）を摂りましょう。

コラム // しっとり肌の素となる天然保湿因子

天然保湿成分とは皮膚に元来備わっている保湿成分の総称です。その主体は、アミノ酸類、ヒドロキシカルボン酸、尿素、ミネラル塩類、などの低分子物です。その大部分は、角質細胞にあるフィラグリンの分解により産生されます。従って、乾燥などによりフィラグリンの生成が低下すると、角質細胞の天然保湿成分が減少し、肌の保湿機能が弱まり、乾燥肌となります。



- 7 -

日本花子様 の【推奨される栄養成分一覧】

EPA 血液の流れをよくする働きや特に重要なアディポネクチンを増やす働きがあります。	
GABA 抑制系の神経伝達物質であるGABAは神経をリラックスさせるなどの鎮痛作用を示します。	
L-カルニチン 皮膚の活力維持に重要な脂肪燃焼に必要な栄養成分です。	
α-リポ酸 脂肪の老廃物（酸化脂質）がけられるのを抑える働きがあります。	
β-グルカン 腸内環境を整え、免疫力や抵抗力を高める働きがあります。	
アスタキサンチン 強力な抗酸化作用があります。	
アミノ酸 髪質を作るために必要な栄養成分です。	
アルギニン 一酸化窒素を作る材料となり、血管拡張作用と血行を促す働きがあります。	
オスモチン お肌の活力維持に必要なアディポネクチンと類似作用を持っています。	

※あなたの関連する遺伝子分野

脂質代謝 糖質代謝 骨代謝 免疫 神経伝達物質 血管 腸内環境 皮膚 髪質

※あなたに該当しなかった項目はグレーで網掛けをしています。

- 30 -

① **総合評価**
関連遺伝子の保有数により5段階の総合評価を行っております

② **遺伝子測定結果**
関連遺伝子の有無をそれぞれの働きが記載されています。また、その遺伝子の日本人保有率が分かります。

③ **おすすめ生活習慣**
保有遺伝子により、あなたにおすすめの生活習慣が分かります。

④ **アドバイス**
測定結果に基づいて、あなたのためのアドバイスを記載します。

⑤ **コラム**
各項目に関するちょっとした情報が記載されています。

⑥ **推奨栄養素**
全ての項目の結果を基に摂取するとよい栄養素を報告書の終わりにまとめてあります。